

研究課題名	強膜穿孔例への Duragen 人工硬膜によるパッチ修復術の評価
研究実施機関名および 研究責任者 (所属科、職名等)	さいたま赤十字病院 眼科 医師 甘利 達明
研究代表施設 および代表研究者	さいたま赤十字病院 眼科 甘利 達明
研究期間	承認日 ~ 2027年12月31日
研究の目的と意義	強膜穿孔は硝子体手術等において注意すべき術中合併症の一つであり適切な管理は不可欠である。強膜穿孔発生時に人工硬膜Duragenを用いたパッチ修復を行い、手術成績を評価する。
本研究の対象となる方	2023年1月1日から2026年12月31日までの間に穿孔発生時に人工硬膜Duragenを用いたパッチ修復を受けた患者
提供していただく情報	年齢、性別、既往歴、治療内容、受診日、転帰、検査情報
研究内容	介入・侵襲を伴わない後ろ向き観察研究
個人情報の取り扱い	研究実施に係る情報を取り扱う際には予め患者の個人情報とは無関係な番号を付して情報を管理する。患者の個人情報が院外へ漏れないように十分配慮する。
問い合わせ先 (拒否等の受付窓口)	<p>【研究担当者】</p> <p>所属：さいたま赤十字病院 眼科</p> <p>氏名：甘利 達明</p> <p>住所：埼玉県さいたま市中央区新都心1番地5</p> <p>電話：048-852-1111</p>